

平成15年 4月 3日

報道機関 各位

広島大学総務部大学情報室長
西田 良一

自然科学研究支援開発センター及びインキュベーションセンター
の看板除幕式について

このことについて、別紙のとおり実施しますので、取材をお願いします。

【お問い合わせ先】

総務部研究協力課長 専門員
波田 整爾

TEL: (0824) 24-6104
(ダイヤルイン)

[発信枚数; A4版 4枚(本票含む)]

- [除幕式の案内](#)
- [自然科学研究支援開発センターの概要](#)
- [インキュベーションセンターの概要](#)

4/1開所のセンターの看板除幕式について(ご案内)

標記のことについて、下記の2つのセンターにおいて看板除幕式を執り行います。
両センターの概要については、別紙を参照ください。

記

○ 自然科学研究支援開発センター(センター長:総合科学部 藤井博信教授)

日 時:平成15年4月4日(金)10:00~(15分程度)

場 所:旧機器分析センター玄関前

出席者:学長, 山西副学長(設立準備委員会委員長), 藤井センター長

(参考)

平成15年度概算要求において、既存の「機器分析センター」「低温センター」「アイソトープ総合センター」「遺伝子実験施設」「医学部動物実験施設」の5センター(施設)を統合した「自然科学研究支援開発センター」の設置要求が認められ、4/1に開所となった。

<本センター照会先>

自然科学研究支援開発センター長

総合科学部 藤井博信教授

0824-24-6551

○ インキュベーションセンター(センター長:ベンチャービジネスラボラトリー 山根八洲男教授)

日 時:平成15年4月4日(金)10:30~(15分程度)

場 所:地域共同研究センター玄関前

出席者:学長, 山西副学長, 佐々木工学研究科長(設立準備委員会委員長), 山根センター長

(参考)

平成13年度補正予算において、「インキュベーションセンター」の建築が認められ、(全国延べ13大学)3月末に竣工、4/1に開所となった。

<本センター照会先>

インキュベーションセンター長

(ベンチャービジネスラボラトリー施設長) 山根八洲男教授

0824-24-7583

<除幕式次第>(両センター共通)

1. 開式の辞
2. 除幕式(学長とセンター長が左右に分かれ、看板に掛けてある白布の端に結んだ紐を引いて除幕する。広報用写真撮影を行う。)
3. 学長挨拶
4. 閉式の辞

平成15年4月3日

自然科学研究支援開発センターの概要

1. 背景

平成12年6月策定の「21世紀広島大学マスタープラン」の中で、今後、本学が総合研究大学としてさらに発展していくためには、各施設・センターの教育研究支援及びサービス業務等において果たす役割を見直し、大学全体として将来構想を策定することが不可欠であるとの結論が出された。これを受けて、既存の教育研究支援センター（遺伝子実験施設、医学部附属動物実験施設、低温センター、機器分析センターおよびアイソトープ総合センター）を整理・統合して、自然科学分野全般にわたっての共同利用や共同研究のための研究支援の役割と、本学が世界的に視て活力の高い研究者を有する生命科学や物質科学関連のプロジェクト研究を推進する役割・使命を合わせ持った自然科学研究支援開発センターを新設した。

2. 理念・目標

自然科学研究支援開発センターは、自然科学系の学際研究センターとして、生命科学、健康科学、物質科学、環境科学などの学際的发展を可能とする教育研究支援体制を構築し、それらの革新的開発研究を推進する。

3. 内容

高度先端研究機器・設備の集約化と一元化管理・運営を行うことにより教育研究支援体制を強化し自然科学分野の教育研究支援を総合的に行うとともに、生命科学及び物質科学関連のプロジェクト研究を推進し、先端的な基礎研究基盤の充実とともに応用研究へと発展させる使命を合わせ持つ。

1. 教育研究支援

- (1) 動物実験、植物実験、遺伝子実験、遺伝子組換え(改変)生物の開発・応用などに関する教育研究支援を進める。
- (2) 高性能分析・評価機器を共同利用機器として提供し、また機器による依頼分析や液体ヘリウムなどの寒剤の安定供給及び低温実験機器・技術提供による教育支援を進める。
- (3) 放射性同位体元素を用いた実験に対する教育研究支援、環境保全及び放射線管理を行う。

2. 研究開発

- (1) 再生医療、病態解析、細胞医療の開発、医療ベンチャー創生など新しい医療や生命科学に関するプロジェクト研究を推進する。
- (2) エネルギー変換・貯蔵機能、新規触媒機能、情報交換・伝達機能など高機能を有する未来材料のシーズ開拓を目指したプロジェクト研究を推進する。

平成15年4月3日

インキュベーションセンターの概要

1. 設立の経緯

広島大学インキュベーションセンターでは、平成13年度第2次補正予算により設置が認められたもので、当初第1次補正予算で3大学が、同第2次補正予算で本学を含めた10大学に設置が認められたものです。

2. センターの目的

このインキュベーションセンターは、本学の研究成果をシーズとして起業した企業、あるいはこれから起業する研究グループや個人に対しスタートアップや起業に必要な研究の場を提供するとともに、ベンチャービジネスの教育・研究の活性化を図ることを目的にしています。

3. センターの概要

東広島市の広島中央サイエンスパーク内の広島大学地域共同研究センターに隣接しています。鉄筋2階建て延べ床面積1,000平方メートルで、研究開発室は47平方メートルの部屋が6室、94平方メートルの部屋が1室となっています。この他ビジネスインキュベーションに対する助言やサービスを行う支援スタッフルームおよび相談室、事務室があります。

4. 入居の募集

入居を希望するグループや企業等について、募集要項等が決定し次第、公募を開始いたします。募集要領はインキュベーションセンターホームページ(ベンチャービジネスラボラトリーのホームページから入ることが出来ます)に掲載予定です。入居期間は原則1年で活動状況を審査の上3年までの延長が認められます。

5. 入居の審査

申請書(ホームページからダウンロードできるように計画中です)にもとづく書類審査およびヒアリングを行い、入居者を決定する予定です。